

<大分県精神障がい者地域移行支援・地域定着支援アドバイス事業> **地域移行ラボラトリー “イコラボ”** ~chiikilko Laboratory~

**イコラボの概要**

目的：精神障がい者の地域移行・定着支援における質の高い相談支援専門員を育成する。  
 概要：事業登録アドバイザーと研修生がメンターとメンティの関係となり、制度の理解促進と実践に即した具体的な支援方法の共有を行うことで、効果的な支援の実施へ結びつける。  
 修了者は、修了証を発行し、県から関係機関（精神科病院、相談支援事業所、市町村、保健所）に周知する。

アドバイザー（メンター） ※事業登録者	研修生（メンティ） ※2年間の継続参加
○ 迫田 篤 氏（障がい者地域生活支援センター泉） ○ 宇都宮 将 氏（基幹相談支援センターアーチ） ○ 加藤 智恵美 氏（相談支援事業所 おとなり） ○ 檜原 長男 氏（相談支援事業所 ポノ） ○ 大塚 真也 氏（衛藤病院） ○ 陶山 武尊 氏（地域生活支援センターとよみ園）	○ 対象・・・大分県内の一般及び特定相談支援事業所に所属する相談支援専門員 ○ 期間・・・2年間（令和6～7年度） ○ カリキュラム・・・年2回の全ての研修会参加＋必要時の個別相談（アドバイザー派遣）

**修了要件**

①年2回の研修を2年間継続して参加する ②必要時はアドバイザーに個別相談をする  
 （派遣を希望する場合は大分県障害福祉課に派遣申込をする）  
 ※修了要件を満たしたメンティには、修了証を発行し、精神障がい者の地域移行・定着支援を専門的に学んだ相談支援専門員として関係機関に周知する→→→圏域での中心的な相談支援専門員を目指す。  
 ※研修修了者には、年度毎に精神障害者地域移行・地域定着支援関係者研修の修了証発行

	令和6年度	令和7年度
研修内容	基礎研修Ⅰ（R6.11.1） 【講義】大分県の現状、精神障がいの基本的な理解と支援 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの理解 医療と福祉の連携について、精神疾患の基礎知識	第1回（R7.9.4） 【講義】地域定着支援について、地域定着支援事例の紹介 【グループワーク】 ・地域移行支援の始め方 ・顔の見える連携“明日からできること”
	基礎研修Ⅱ（R7.1.29） 【講義】地域移行支援、地域定着支援について 居住支援への取り組み、ピアサポーターとして支援者に求めること 【演習】架空事例をもとに支援方針の検討	第2回（R8.1.30） 支援事例についての共有・発表 発表に対する助言
個別相談	※研修以外にも、随時、アドバイザーによる個別相談（アドバイザー派遣）を実施	